

プログラム名 (40字以内)	東大蔵元会の蔵で酒造りを体験しよう		
団体名/所属	東大蔵元会		
活動区分	就労体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	13人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	オンラインを活用しつつ現地活動を行う		
参加者に求めるもの	20歳以上(利き酒があります)。アルコール消毒や飲酒によるアレルギーがないこと。健康であること。 ※蔵での就労体験では、実際の作業を体験する工程が含まれます。 体調や体力面で無理があると感じる作業については、無理のない範囲で参加いただければと思います。		
活動期間	事前セミナー:2026/8/4(火) 17:00~19:00@日本の酒情報館(新橋) 就労体験:2027/2月~3月、期間は2~5日間	主な活動予定場所	参加する東大蔵元会会員の酒蔵
プログラム実施の目的	日本酒は世界最優秀ソムリエコンクールで出題されるなど世界の飲食業界からの注目が高まっています。その酒造りを体験し、日本酒のこれからを考えることを目的とします。		
具体的な内容(800字程度)	<p>本プログラムでは、学生が東大蔵元会会員の酒蔵に赴き、実際に酒造りに携わります。また、酒造りを体験するだけでなく、各蔵の抱える課題について、学生独自の視点から解決策を考えてもらいます。</p> <p>就業体験の前に、現在の日本酒業界の全体像や酒造りの基礎を知ってもらうため、セミナーを受講する予定です。 なお、体験中に製造する酒は商品となるため、実直に責任感を持って取り組める学生の参加をお願いします。</p> <p><就労体験先> ・株式会社わしの尾(岩手県) ・大七酒造株式会社(福島県) ・泰酒造株式会社(新潟県) ・津南醸造株式会社(新潟県) ・惣普酒造株式会社(栃木県) ・西堀酒造株式会社(栃木県) ・長龍酒造株式会社(奈良県)</p> <p>【スケジュール】 ① 事前オリエンテーション@オンライン(2026年7月頃、2~3時間) 蔵元会長挨拶、参加者・蔵元全体顔合わせ、質疑応答 ② 事前セミナー 場所:日本の酒情報館(東京都港区西新橋1-6-15 日本酒造虎ノ門ビル1F) 日時:2026年8月4日(火)17:00~19:00 日本酒に関するセミナーを受講します。就労体験に臨む前に、日本酒業界の全体像や酒造りの基礎を学ぶ大事な機会であるため、原則として全員参加必須です。 ③ 就労体験 蔵元ごとに実施内容・日程が異なるため、詳細は下記「就労体験概要」をご確認ください。 https://univtokyo-my.sharepoint.com/:b7/g/personal/4928854694_utac_u-tokyo_ac_jp/IQA42GD85_JvS5IFseRNA71KAQ11lzs2-omHCu_3c_uYQos?e=cwneXx ※ログインを求められた際は「共通ID10桁@utac.u-tokyo.ac.jp」でログインをしてください。</p> <p>※①②は、「東大蔵元会の蔵で酒造りを体験しよう」プログラム参加者全員が合同で行います。 ※③について、就労体験を希望する蔵元がある場合には、申請の参加動機欄に希望蔵元とその理由を記載してください。ただし、応募者数にもよるので希望に添えるかはわかりません。</p>		
【総額】参加するための費用	蔵によるので「就労体験概要」を参照		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	6,000円~10,000円×宿泊日数分		
【内訳】参加するための費用(交通費)	蔵元までの交通費。蔵によるので「就労体験概要」を参照		
【内訳】参加するための費用(その他)	セミナー受講料:4,000円~5,000円		
奨励金額(予定)	就労体験先の蔵によって金額は異なります。金額は、「就労体験概要」をご確認ください。		
備考	この活動は、各蔵元の受け入れ可能な日程を基に就労体験の日程を調整するプログラムです。そのため、日程調整には制限があることをご理解のうえ、ご応募ください。なお、日程の調整はおおむね12月から1月にかけて行います。		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト			
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)			
この企画に対する担当者(応募団体の参加の有無)	参加する		